



徳川家康公  
四百年  
記念事業

## 徳川家康公顕彰四百年記念 作文コンクール

# 静岡県小中学生の作品21編を表彰

公益財団法人徳川記念財団(徳川

恒孝理事長)は平成27年7月〜9月、

静岡県内の小中学生を対象とした

「徳川家康公顕彰四百年記念作文コ

ンクール」の作品を募集。872編の

作文が応募され、審査委員7名(審査

委員長・中村羊一郎氏)による審査

で、21編を入賞作品に選びました。

表彰式は平成27年12月18日、静岡

市民文化会館 中ホールで開催し、入

賞者と最優秀作品「徳川賞」を

受賞した作文は次の通り。



### 〔入賞者〕(敬称略)

「徳川賞」林貴美「家康賞」藤岡亜蘭、加藤穂乃佳「徳川みらい学会賞」鈴木海太「静岡県知事賞」竹中夫人「静岡市長賞」佐藤言美「浜松市長賞」志村那緒「静岡県教育委員会教育長賞」芝田敦史「静岡市教育長賞」松澤里奈「浜松市教育長賞」舟崎隼平「静岡県私学協会会長賞」大杉明日香「静岡県商工会議所連合会会長賞」芹沢悠陽「静岡商工会議所会長賞」土屋侑大「浜松商工会議所会長賞」竹之内香穂「静岡新聞社賞」内田陽仁「中日新聞東海本社賞」辻村颯人「NHK静岡放送局長賞」桑水流富重「静岡放送賞」北條沙紀「テレビ静岡賞」田中晴登「静岡朝日テレビ賞」稲垣快音「静岡第一テレビ賞」櫻井皓基

### 〔徳川賞〕

## 「タカ狩りとのつながり」



林 貴美さん  
(常葉大学教育学部  
付属橋小学校4年)

『富士、二タカ、三なすび』

これは、初ゆめで見ると縁起がいいものだ。

由来は、駿河の国を代表する、高いも  
の順の意見がある。

一番の富士は、日本一の富士山。二番  
目のタカは、鳥のタカ。三番目のなすびは、  
折戸の丸いナス。

別の意見もある。家康公の好きなも  
の順だ。面白いと思った。気になったの  
は二番目のタカだ。

駿府城公園に、家康公の銅像がある。  
うでは、タカをのせている。タカ狩りが  
好きだとよく分かる。

私はタカ狩りを知らない。パソコンで  
調べてみた。タカが合図と共に飛び立っ  
た。しゅんでえものをつかまえた。

これがタカ狩りなんだ。  
動画を見た後、様子を思い浮かべた。  
人質の竹千代君はタカ狩りをした時、  
タカを見て、

「お前はいいな。自由で。タカになりたい。  
大空を飛び、父や母の所へ行きたい。」竹  
千代君のさびしさが聞こえそう。人  
質は自由がない。何でもしんぼうしてい  
た。もしも友達だったら、力づけたかった。

三年生の時、臨濟寺で手習いの間を見  
た。せまい部屋に、つくえがポツンとあっ  
た。自由がないつらさをじつとがまんし、  
勉強をしていたら。タカ狩りは、一番  
の心休まる楽しみだったらう。

大人になってもタカ狩りは続いた。静  
岡は自然が多い。きつと田中城もタカ狩  
りにふさわしい場所だったらう。行った  
事がないから一度自分の目でみたい。  
天下統一を達成した時も、もちろんタ  
カ狩りをしてきた。タカを見て、お前の  
ように、天から下を見下ろすぞ。必ずい  
い国を作ってみせる。家康公の心強さ  
が聞こえそう。

一人に仕事を任せずに、みんなとやる政  
治だ。人々の声も聞き入れていたのでは  
ないだろうか。

七月に議会見学をした。その時、議員  
さんから、「政治は一人で出来ない。みん  
なの意見と協力があるからこそ、いい政  
治が出来る。」と教わった。家康公は、タ  
カ狩りで、人々の生活を見てまわり、政  
治の参考にしてきたらう。今も昔も、  
政治の考え方は同じだ。

家康公のタカ狩りは、遊びだけではな  
い。大空を飛ぶタカになりたいと思っ  
た。政治の参考にしたらうと、タカ狩りと  
つながりを持つていた。

私は、空を見る  
と四百年前に、家  
康公も同じ空を  
見ていたんだらう  
と感じる。

もし、今、家康  
公が生きているの  
なら、ぜひ、タカ狩  
りを自分の目で  
見てみたい。

